

愛知県の新型コロナウイルス感染症に対する「嚴重警戒」 を踏まえた市民・事業者の皆さまへのお願い

新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数は、昨日 19 日に全国で過去最多の 2,385 人を記録し、名古屋市でも過去最多の 116 人の陽性者が発生しており、市内の感染状況は大変厳しい状況にあります。

昨日、愛知県より新型コロナウイルス感染症の感染状況として「嚴重警戒」が示されたところであり、季節性インフルエンザの同時流行も懸念される厳しい状況ではありますが、本市では、9 月に取りまとめた「新型コロナウイルス感染症にかかる検証及び対応方針」をもとに、感染防止対策と社会経済活動の両立を目指して、この冬への備えを進めてきております。

特に、検査・相談体制におきましては、看護師等の医療職が 24 時間体制で対応する受診・相談センターを新設し、メールでの問合せ対応も開始するなど、市民の皆さまの不安を取り除き、速やかに検査にお繋ぎできる体制を整えております。引き続き、更に検査が身近なものとなるよう、市内医療機関の皆さまのご協力のもと、検査・相談体制をより強固なものにしてまいります。

市民の皆さまにおかれては、今後、忘年会などの懇親会やクリスマスなどの季節の行事が控えていることかと思いますが、『感染リスクが高まる「5 つの場面」』や、愛知県からの「県民の皆様へのお願い」などを踏まえ、「コロナに感染しない、させない」を合言葉に、感染防止に取り組んでくださいますようお願いいたします。

また、明日からは 3 連休を迎えます。秋の行楽シーズンでもあり、様々なご予定があるかと思いますが、「5 つの場面」等に気をつけていただくとともに、皆さま一人ひとりが感染防止対策に取り組んでいただいて、楽しい 3 連休をお過ごしくださいますよう、お願いいたします。

事業者の皆さまにおかれては、「5 つの場面」等に留意していただくとともに、業種別ガイドラインの徹底や接触確認アプリ(COCoA)のインストールを働きかけるなど、もう一度、感染防止対策の再確認と徹底をお願いいたします。

令和 2 年 11 月 20 日

名古屋市長 河村 たかし

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で注意力が低下する。また、聴覚が鈍磨し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、例えば深夜のほしご酒では、昼間の通常の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- また大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケや野外のバーベキューでの事例が確認されている。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用施設での事例が確認されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での事例が確認されている。車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

